

令和6年6月27日

第1回学校運営協議会 議事録

場所:兵庫大開小学校 15:00~16:20

委員:学校運営協議会委員12名・オブザーバー1名

兵庫大開小学校校長・教頭・総務・兵庫くすのき幼稚園長・主任

1. あいさつ

会長あいさつ

- ・昨年度から小学校と幼稚園の取組を聞き、よくやってくれていると思うばかり。
- ・身近で子供たちを見てくださっている皆様には、ぜひ厳しいご意見もいただきたい。

学校長あいさつ

・かつては学校評議員制度であったが、現在は学校運営協議会制度となり、それに伴って、委員の皆様
の責任も重くなり、ご負担をおかけすることとなっている。今後、委員の皆様が主体となって議事運
営をしていただく流れとなることを含め、お願いすることも出てくる。学校園または教育委員会へのご意
見をお願いしたい。個人の意見ではなく、合議による協議会の皆様のご意見として、お聞かせ願いた
い。議事録は、学校ホームページに掲載することとなる。

園長あいさつ

- ・昨年度より引き続き人権教育研究事業を受け、一人一人の子どもが自分らしさを発揮し、互いの存
在を受け入れ、よさを認め合える仲間づくりを目指している。

2. 自己紹介

3. 教育長からのメッセージ視聴

4. 教育目標・経営方針

兵庫大開小

- ・第4期神戸市教育振興基本計画に基づいた、学校教育構想について説明。
- ・学年目標について説明。6年生の BRAVO6! (ブラボー6!) の内容は、「姿勢・時間・サイレント・あ
いさつ・スリッパ・言葉」。小さなことを、きっちりとしていく。
- ・教師の率先垂範。子供たちにとって、良き大人モデルに。
- ・全国学力調査では、問題文が長くなると、問われていることが分からなくなる傾向があった。どの教
科においても「読むこと」「書くこと」を意識して、授業をする。
- ・コミュニケーション力を育てる、語彙力を育てることを、目指して取り組みたい。「聞くこと」「話すこ
と」で、自分の気持ちが相手に上手に伝わる言葉を増やしたい。

※意見特になし。

兵庫くすのき幼稚園

- ・幼稚園要覧について説明。幼稚園、も小学校と課題は同じである。
- ・「自立」「あいさつ」を目指す。教師が子供たちの基礎基本のモデルである。

- ・人権教育の指定を受けた。言葉かけ・立ち居振る舞いは子供に伝わるので、意識することが必要。
- ・子供のつばやき・あったかフレーズから子供のよい面を読み取り、園だよりに掲載している。
- ・重点目標は「友達とかかわりながら、意欲的に遊ぶくすのキッズ
～自分らしさを発揮し、互いのよさを認め合える仲間づくりを目指して～」
- ・園児数は微減。3歳児は定員割れ。
- ・1学年1クラス。様々な配慮を要する幼児がいる。
- ・担任は1人だが、1クラスを3人で見る体制をとっている。
- ・職員の働き方も様々。
- ・子供たちの姿を多面的にとらえることやいいところを見つける、ありのままを受け入れることを大切に保育する。
- ・自尊感情を高めることでお互いを大事にできる、互いに心地よいかかわりができると考えている。
- ・あったかフレーズは職員同士で共有し、職員の幼児理解を深める手立てとしている。

※意見特になし

5. 意見交換

(A)

- ・コミュニケーション力について、最近はネットでのやりとり。それでいいのだろうか。
→パソコンも学校で活用しているが、どんな考えをもったのかの交流を大切にしている。
- ・けんかやもめごとは、コミュニケーションの不足が根幹にあるのではないだろうか。
→だからこそコミュニケーションを大切にしたい教育活動をしていきたい。
- ・教育委員会から配られた「しつけは家庭と地域で」について、分からなくはないが、今の家庭は昔と違って親が子供と過ごす時間が少ないのではないだろうか。自分も地域に教えられた訳ではないが、地域がしつけをするということがあるのだろうか。
→共働き家庭も多く、限られた時間で子供たちと接する家庭が多くなっている。短い時間でも親子で話す時間を大切にしてほしい。

(B)

- ・コミュニケーションは大切である。パソコンが悪いわけではない。語彙の幅は減っていると感じる。いろいろな策を使って、語彙を増やしていかないといけないと思う。例えば、類義語を調べる等。

(C)

- ・以前から、コミュニケーション能力については話題に上がっている。相手が何を言っているかを理解できるかどうか、これが大事。大人でもありうる。聞く側が聞いていないから噛み合わないこともあるのではないかと気づく力も必要。

(D)

- ・途中で話を整理することも必要。

(E)

・傘を振り回す、横断歩道ぎりぎりに立っている等、危険な場面を見かけることもある。交通安全は気になる。コンビニに下校途中に寄り、トイレに行く児童もいた。

・あいさつは元気にしてくれるし、声をかけてくれるのはとても嬉しい。

(オブザーバー)

・コミュニケーション能力については、何年か前から協議会でも話題になっている。今は便利な時代。民生委員もペーパーレスで連絡となった。便利なところは活用していく。

・人と人とのふれあいが希薄になっているのだろうか。

・「人は人によって人になる」。神戸市のこの理念にあこがれて、全国から教員志望者があるようだ。

・基本、話を聞くこと。子育てでも同じである。

・学校は学校の、家庭は家庭の、地域は地域の、それぞれのよさがある。隙間の部分をお互いが意識し補い合えたら、子供たちが社会に出てもつぶれない、生きる力を育めるのではないだろうか。

・虐待の話が、随分前から増えている。以前はネグレクトの話が多かったが 最近は心理的虐待、例えば子供の前で夫婦が喧嘩する等が増えている。子供の心が不安定になってしまう。大人がもっと気を付けること。子供は大人(保護者、教師、地域の人)をよく見ている。大人が、温かい気持ちになれるような人でありたい。

6. 今後の予定

・11月 兵庫くすのき幼稚園 遊戯室にて。